

**科学研究費助成事業 研究成果報告書**

平成 28 年 5 月 11 日現在

機関番号：34311

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2012～2015

課題番号：24730362

研究課題名(和文) 保険業におけるマーケティングの経済分析

研究課題名(英文) An Economic Analysis of Marketing in Insurance Industry

研究代表者

大倉 真人 (Okura, Mahito)

同志社女子大学・現代社会学部・准教授

研究者番号：50346904

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、保険市場における様々なマーケティングについて、主としてミクロ経済分析の手法を用いて検討を行ったものである。研究成果としては、(1)保険会社におけるマーケティングについての新たな知見を得たこと、(2)各保険会社が競争する場であり、マーケティングを実施する場である市場の分析を展開したこと、(3)情報の非対称性、リスク、不確実性といった保険会社がマーケティングを考える上で重要な項目についての経済分析を実施したこと、などを掲げることができる。

研究成果の概要(英文)：This research investigated various kinds of marketing appeared in an insurance market mainly by microeconomic analysis. The followings are the summaries of this research. First, this research derived new perspectives about insurer's marketing. Second, this research developed the analysis of the insurance market in which each insurer competes with its rivals and conducts its marketing. Third, this research investigated asymmetric information, risk, and uncertainty that are the important factors for considering insurer's marketing.

研究分野：保険

キーワード：保険 リスク・マネジメント

## 1. 研究開始当初の背景

1996年の保険業法改正によって、これまで多くの面において規制下にあった保険業に対して競争原理が導入されるようになった。保険料率(価格)競争が生じたことや、これまで隣接分野とされてきた銀行業や証券業との競争などが活発化したことなどは、この競争原理導入による変化の好例である。

そしてこのような外的環境の変化によって、各保険会社は経営戦略等の大転換を迫られることとなった。保険業法改正以前は、規制を遵守した横並び的な保険商品開発および販売を行っていかばよく、またそれ以外の選択肢はなかった。しかしながら、保険業法改正によって各保険会社の自由度が増したことで、各保険会社は保険業法改正によって得た自由度をどのように使って競争に打ち勝っていくかという問題に直面するようになった。換言すれば、保険業法改正によって、各保険会社はこれまで重視してこなかった「マーケティング」の実践を余儀なくされるようになったのだと言える。そして、保険業における様々な流通チャネルの登場・発展(たとえば、インターネットを通じた保険販売や銀行窓口販売など)や比較広告戦略の活用などはこの典型例であると言える。

以上のように、現在の保険市場は、従前に比して相当に競争的であり、かつこの傾向は今度も加速するものと思われる。そしてこのことは、各保険会社におけるマーケティングの重要性が今後ますます増加することを意味している。

しかしながら、先行研究において、保険業のマーケティングを体系的に取り扱ったものは極めて少ないと言わざるを得ないのが現状であった。保険業法改正後、保険マーケティングの事例や実例などについての著述はしばしばみられるが、これらはいわゆる「ケース・スタディ」のレベルにとどまっており、たとえば現実に見られる各種マーケティングの根底を流れる「一貫的な理論」に対する言及には及んでいない場合が少なくなかった。また、マーケティングの対象となっているのが保険業であることから、当然に保険業固有の特徴を源としたマーケティングも存在しているのだが、この場合における「保険業固有の特徴」と「採用されているマーケティング」との対応関係を明確にした先行研究は皆無といえる状況下にあった。

## 2. 研究の目的

「1. 研究開始当初の背景」で示した背景をもとに、これまで本研究担当者は、保険業における様々な種類のマーケティングについて、主としてミクロ経済分析の手法を使った分析を展開してきた。具体的には、保険業における商品差別化戦略にかかる研究や保険業の(広告)投資戦略にかかる研究、規制と企業が行うロスコントロール活動との関連にかかる研究などが該当する。

しかしながら言うまでもなく、現実の保険業におけるマーケティングは多種多様であり、また近年においてはその変化が特に急激であることから、これまで本研究担当者が行ってきた一連の研究には一定の意義は認められるものの不十分な点があることも否めなかった。

そこで本研究課題では、これまでの研究において不十分であった点を明確にすることなどを通じて、保険業におけるマーケティングについての包括的な研究を行っていくこととした。

## 3. 研究の方法

本研究は経済理論モデルによる分析を主とするものである。そしてこの経済理論モデルの構築は、以下の4つのステップを経て行われた。

第1のステップとして、現実における保険マーケティングおよびそれをとりまく外生環境をどのような形で経済モデルとして描写するかについての検討を行った。経済モデルと一口にいっても、その種類は多種多様であり、またそれらのモデルが構築されかつ分析・検討される目的についてもやはり多種多様である。それゆえに、それら多種多様な中から、現実における保険マーケティングを分析する上で適切なモデルとは何かについて考えることが必須となる。そこで、保険会社が現実に行っているマーケティングや保険市場などについての調査を通じて得た知見を基礎に、大まかな検討を行うとともに、これらに関連した文献レビューを実施した。

第2のステップとして、第1のステップで採択された経済モデルをベースとした経済モデルの構築を行った。その際、本研究課題が「マーケティング」と「保険業」の両面を有したものであるという点に特に意識して作業を行った。換言すれば、各種の産業において普遍的に存在する「マーケティング」が「保険業」という個別産業において実施される場合をモデルによって描くことに研究の力点を置いた上で、どのようなモデルによって分析を行うのが適切であるかを考えていったと言える。

第3のステップとして、構築された経済モデルの操作(均衡の導出など)を行った。本研究課題を進めていく中で、いくつかのケースにおいて複雑な現実をモデルによって忠実に描写できない場合なども出現したが、そのような場合には、過去の研究や研究担当者のこれまでの研究経験蓄積などに照らした上で、モデルを単純化したり、より結果の出やすい関数型への特定化を行ったりなどの作業を行った。

第4のステップとして、モデルから得られた結果を基礎に、様々なインプリケーションを導出した。特に本研究課題は保険業におけるマーケティングを研究焦点としていたことから、この研究焦点を中心に据えることを

意識して作業を展開した。

また上記のステップを経て作成された研究成果のいくつかについては、ディスカッションペーパーなどの形にまとめた上で先行的に公表するなどした。このような先行的な公表は、本研究における「中間報告」あるいは「仮報告」として位置づけられ、学会発表などを行う際の資料などの形で利用された。また、学会発表などの場のような研究内容について報告する機会において、参加者などから有益なコメントを得ることができたが、これらの得られたコメントは、本研究の質のさらなる向上に貢献したものと評価できる。

#### 4. 研究成果

本研究課題は、保険市場において散見される多様なマーケティングについて、主としてミクロ経済分析の手法を用いて検討を行ったものであり、その研究成果は、雑誌論文としての刊行および学会発表としての報告として、見える形で示されている。具体的には、「5. 主な発表論文等」に示された11件の雑誌論文および14件の学会発表がこれに該当する。

そして、本研究課題の成果の少ない件数については、国際学会における発表を経た上で、査読有の国際雑誌に掲載されている。このような形での研究成果の報告を行ったことによって、本研究担当者が行った研究が社会に与えるインパクトを上昇させることができたものと思われる。

なおこれらの研究成果が有する学術的貢献については、概して言えば、以下の3点にまとめることができる。

1つめは「保険会社におけるマーケティングについての新たな知見を得たこと」である。一例として、雑誌論文に示した研究について述べると、この研究ではこれまで（暗黙的に）別個に扱われていた保険可能資産（例えば自動車）と保険の購入について、これらを同時に考えた場合についての検討を行っている。例えば、自動車および自動車保険について考えた場合、新車を購入するのと同じタイミングで自動車保険に加入する場合が少なくない。そしてこのような場合、自動車の価格などが消費者の保険購入行動に影響を与える可能性があると考えられるが、従来の研究ではこのような関連性については考慮されてこなかった。この論文は、このような同時決定という新しい視点を含んだ状況を想定した上で、モデル分析を展開したものである。以上よりこの研究は、保険商品販売にかかるマーケティングに対する新たな知見を与えるものであると評価できる。

2つめは「各保険会社が競争する場であり、マーケティングを実施する場である市場の分析を展開したこと」である。一例として、雑誌論文に示した研究について述べると、この研究は保険が上級財か下級財かについて経済学的に分析したものであり、ひいては

マーケティングに密接に関連する保険にかんする市場需要構造を理解する上で少なくない貢献を有するものである。そして本論文では、年金や医療などのように公的保障（国などが提供する保障）と私的保障（生命保険会社等が提供する保障）とが併存している保険市場に着目した上で、この公的保障における給付にかかる特徴の違いによって、私的保険が上級財となったり下級財となったりすることを明らかにしたものである。

3つめは「情報の非対称性やリスク・不確実性といった保険会社がマーケティングを考える上で重要な項目についての経済分析を実施したこと」である。一例として、雑誌論文に示した研究について述べると、この研究では、マーケティングを考える上で不可避免的に生じる不確実性の問題について取り扱っており、具体的には、需要不確実性およびコスト（将来における支払保険金総額）にかかる不確実性の問題について議論している。そして、経済分析を展開することで、この需要不確実性を解消するための需要情報の価値に関連した検討を実施している。

#### 5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕(計11件)

Okura Mahito and Yamaguchi Satoru, Capital Structure of Non-life Insurance Firms in Japan, Applied Economics and Finance, 査読有, forthcoming

DOI: 10.11114/aef.v3i3.1508

Okura Mahito, The Effect of Competition on Safety Management to Reduce Risk in Banking, International Journal of Financial Innovation in Banking, 査読有, Vol.1, Nos.1/2, pp.29-42, 2016

Okura Mahito, An Economic Analysis of Low Cost Carriers and Insurance, Applied Economics and Finance, 査読有, Vol. 2, No.4, pp.19-24, 2015

DOI: 10.11114/aef.v2i4.1029

Okura Mahito, Solar Power Generation and Risk Transfer Systems, International Journal of Business, 査読有, Volume 20, Number 4, pp. 347-356, 2015

Okura Mahito, The Impact of Public Insurance on Private Insurance Demand, Asia-Pacific Journal of Risk and Insurance, 査読有, Volume 9, Issue 1, pp. 35-45, 2015

DOI: 10.1515/apjri-2014-0021

Okura Mahito and Carfi David, Coopetition and Game Theory, Journal of Applied Economic Sciences, 査読有,

Volume 9, Issue 3, pp. 457-468, 2014  
Okura Mahito, The Value of Demand Information in an Insurance Market under Demand and Cost Uncertainty, Atlantic Economic Journal, 査読有, Volume 42, Issue 4, pp. 413-426, 2014  
DOI: 10.1007/s11293-014-9433-3  
Okura Mahito, Nozaki Hiroyuki, and Iwase Kenta, Observations on the Segmentation of Earthquake Insurance in Japan, International Journal of Business, 査読有, Volume 19, Number 4, pp.311-321, 2014  
Okura Mahito, The Relationship between Moral Hazard and Insurance Fraud, Journal of Risk Finance, 査読有, Volume 14, Number 2, pp.120-128, 2013  
DOI: 10.1108/15265941311301161  
Okura Mahito, An Economic Model of Simultaneous Purchasing of Both an Insurable Asset and Insurance Coverage, Insurance Markets and Companies: Analyses and Actuarial Computations, 査読有, Volume 3, Issue 2, pp.17-20, 2012  
Okura Mahito, An Economic Analysis of Cooperative Training Investments for Insurance Agents, In Advances in Computational Intelligence: 14th International Conference on Information Processing and Management of Uncertainty in Knowledge-Based Systems, IPMU 2012, Catania, Italy, July 2012, Proceedings, Part IV, Springer-Verlag, 査読無, pp.571-577, 2012

〔学会発表〕(計14件)

Fujii Yoichiro, Okura Mahito, and Osaki Yusuke, Regret and Rejoicing Effects on Mixed Insurance, World Risk and Insurance Economics Congress (Third Meeting), Ludwig-Maximilians-Universitat in Munich (ドイツ), 2015年8月5日  
Okura Mahito and Jiang YingYing, Optimal Premium Subsidy and Its Impact on Individual Choice for Insurance Coverage, The 18th Annual Conference of the Asia-Pacific Risk and Insurance Association, Moscow State University (ロシア), 2014年7月30日  
Fujii Yoichiro, Okura Mahito and Osaki Yusuke, Regret Aversion and Demand for Mixed Insurance, The 18th Annual Conference of the Asia-Pacific Risk and Insurance Association, Moscow State University (ロシア), 2014年7月30日

Okura Mahito, The Effect of Entry Regulation on Risk Management, The 18th Annual Conference of the Asia-Pacific Risk and Insurance Association, Moscow State University (ロシア), 2014年7月29日  
Okura Mahito and Carfi David, Coopetition and Game Theory, 6th Workshop on Coopetition Strategy, Umea University (スウェーデン), 2014年5月22日  
大倉真人, Does Competition Really Promote Risk Management? 保険および金融についての研究ワークショップ, 早稲田大学(東京都), 2014年2月17日  
大倉真人, The Impact of Public Insurance on Private Insurance Demand: Is Private Insurance a Normal Good? 日本金融学会2013年度秋季大会, 名古屋大学(愛知県), 2013年9月21日  
Okura Mahito, The Impact of Public Insurance on Private Insurance Demand: Is Private Insurance a Normal Good?, The 17th Annual Conference of the Asia-Pacific Risk and Insurance Association, St. John's University (アメリカ), 2013年7月30日  
大倉真人, The Impact of Public Insurance on Private Insurance Demand: Is Private Insurance a Normal Good? 保険および金融についての研究ワークショップ, 一橋大学千代田キャンパス学術総合センター(東京都), 2013年4月22日  
Okura Mahito, An Economic Analysis of Cooperative Training Investments for Insurance Agents, 5th Workshop on Coopetition Strategy, University of Economics in Katowice (ポーランド), 2012年9月13日  
Okura Mahito, The Relationship between Moral Hazard and Insurance Fraud, 2012 Asia-Pacific Risk and Insurance Association Annual Conference, Sung Kyun Kwan University (韓国), 2012年7月25日  
Okura Mahito, An Economic Model of Simultaneous Purchasing of Both an Insurable Asset and Insurance Coverage, 2012 Asia-Pacific Risk and Insurance Association Annual Conference, Sung Kyun Kwan University (韓国), 2012年7月25日  
Okura Mahito, An Economic Analysis of Cooperative Training Investments for Insurance Agents, 14th International Conference on Information Processing and Management of Uncertainty in Knowledge-Based Systems, University

of Catania (イタリア), 2012 年 7 月 9 日  
Okura Mahito, The Relationship between Moral Hazard and Insurance Fraud, 日本応用経済学会 2012 年度春季大会, 福岡大学 (福岡県), 2012 年 6 月 9 日

6 . 研究組織

(1) 研究代表者

大倉 真人 (OKURA MAHITO)  
同志社女子大学・現代社会学部・准教授  
研究者番号 : 50346904